

「今後の自然教室及び八ヶ岳少年自然の家の方向性（案）」に関するパブリックコメント手続の実施結果について

1 概要

本市では、これまで、市立小学校の5年生及び市立中学校の1年生に対し、八ヶ岳少年自然の家を利用して自然教室を実施してきましたが、施設等の老朽化に伴い、今後の自然教室の方向性及びそれに伴う八ヶ岳少年自然の家の方向性を策定します。これまで、様々な検討を行い、長期的な安全性やコスト比較、持続可能性の観点、学校の実情に合わせた柔軟な学びのかたちへの変化等を総合的に考慮し、この度、「今後の自然教室及び八ヶ岳少年自然の家の方向性」の案を策定し、広く市民の皆様の御意見を募集しました。

その結果、53通（85件）の御意見をいただきましたので、御意見等の内容とそれに対する市の考え方を次のとおり公表します。

2 意見募集の概要

題名	今後の自然教室及び八ヶ岳少年自然の家の方向性（案）に関する意見募集について
意見の募集期間	令和7年11月26日（水）～令和7年12月25日（木）
意見の提出方法	電子メール（意見提出フォーム）、ファクス、郵送、電子メール（Eメール）、持参
意見の周知方法	<ul style="list-style-type: none"> ・市政だより（令和7年12月号掲載）、市ホームページ、教育だよりかわさき134号（令和7年11月発行）、X（川崎市シティプロモーション） ・資料の閲覧（かわさき情報プラザ、各区役所市政資料コーナー、支所・出張所、図書館（本館・分館）、市民館（本館・分館）、こども文化センター、青少年教育施設、教育委員会事務局学校教育部指導課） ・アンケート調査に御協力いただいたその他市内利用団体への案内 ・関係各所での説明（小・中学校校長会、PTA、青少年育成連盟、附属機関（社会教育委員会議、青少年教育施設専門部会）
意見の公表方法	<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページ ・資料の閲覧（かわさき情報プラザ、各区役所市政資料コーナー、支所・出張所、図書館（本館・分館）、市民館（本館・分館）、こども文化センター、青少年教育施設、教育委員会事務局学校教育部指導課）

3 意見募集の結果

提出件数	53通（85件）	
内訳	電子メール（意見提出フォーム）	51通（76件）
	ファクス	—
	郵送	—
	電子メール（Eメール）	2通（9件）
	持参	—

4 意見の内容と対応

(1) 意見の対応区分

【対応区分】

- A：御意見を踏まえ、案に反映したもの
- B：御意見の趣旨が案に沿ったものであり、御意見の趣旨を踏まえ、取組を推進するもの
- C：今後の取組を進めていく上で参考とするもの
- D：案に対する質問・要望の御意見であり、案の内容を説明・確認するもの
- E：その他

【意見の件数と対応区分】

項目	A	B	C	D	E	計
1 自然教室に関すること	0	8	2	23	0	33
2 八ヶ岳少年自然の家に関すること	0	2	1	39	0	42
3 青少年育成連盟加盟団体やその他利用団体の活動に関すること	0	0	0	8	0	8
4 その他	1	0	0	0	1	2
合計	1	10	3	70	1	85

(2) 主な意見と本市の対応

ア 主な意見

自然教室においては、他施設での実施に関する意見（質・実施手法・保護者負担に対する意見）が、八ヶ岳少年自然の家においては、施設の存続に対する要望やクラウドファンディングを活用した維持に関する意見が、その他青少年育成連盟加盟団体を中心に、活動場所の確保についての支援を要望する意見や、施設廃止による富士見町との友好都市関係への影響に関する意見等が寄せられました。

イ 本市の対応

いただいた意見のうち、友好都市である富士見町に関することについて、意見を踏まえ、案の修正を行いました。
その他、用語の修正など、所要の整備を行っています。

5 具体的な意見と市の考え方

(1) 自然教室に関すること (33 件)

	意見 (要旨)	市の考え方	対応区分
1	<p>最近、熊の出没情報が後を絶ちません。子どもを持つ親として、その心配のない場所であることの確認も事前にお願ひできますと幸いです。(同趣旨他 1 件)</p>	<p>自然教室は、豊かな自然の中で様々な体験活動や集団宿泊体験を行うものであるため、絶対に熊の出ない地域での実施となると、活動内容含め、かなり限定的になることが想定されます。</p> <p>この間、各施設等から熊の出没状況や対策等の情報を随時収集し、学校に対して提供するとともに、登山や野外活動時はグループ単位で行動すること、夜間や早朝の活動は注意することといった、自然教室実施時における注意喚起や、熊避け対策グッズの貸し出し等の対策を講じてきましたが、引き続き、自然教室の安全・安心な実施に向け、より一層の安全対策に努めてまいります。</p>	C
2	<p>教員として、反対の立場から意見を申し上げます。災害の危険があることは、本当に児童を守る上で避けては通れないことなので、その対応は必要だと思ひます。その上で、数年かけながら新しい施設を考える、本当に使用できない施設なのか考えるなら、納得します。</p> <p>しかし、突然の発表から、下見も一度しかできず、本当に児童の安全を守るための政策なのか、甚だ疑問が残ります。過去の自然教室の事故を踏まえて、八ヶ岳自然の家を総合的に判断し、その上で廃止にするのであれば、他の施設の安全性をきちんと綿密に調べてから行事を続けていってはいただけないでしょうか。</p> <p>また、今年度他施設で実施したいくつかの教員からは、保健スタッフが常駐せず、電話をしてもなかなかタクシーが来ず、病院への搬送・手当が遅くなった例があったとも聞いております。</p>	<p>八ヶ岳少年自然の家については、築 45 年以上経過した木造建築物が多く、建物の構造躯体等の老朽化が著しい状況で、劣化調査結果からは、木造の宿泊棟は改築等の対応が必要であるとの判定を受けているほか、設備機器についても多くが耐用年数を超過しており、施設を継続して使用するには、抜本的な老朽化対策が必要ですが、敷地の一部が「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」に基づく土砂災害特別警戒区域等に指定されており、地球温暖化等の気候変動や線状降水帯等の異常気象等を踏まえた地形的な課題、それによる将来的に予測困難な災害リスク等を考慮すると、60 年以上使用する施設を再整備し、子どもたちを行かせ続けることは、長期的な安全性の確保の観点から、課題があると考えています。</p> <p>なお、令和 2 年度から当該施設の抜本的な老朽化対策の検討に着手し、以降、議会及び教育委員会、校長会のほか</p>	D

	意見（要旨）	市の考え方	対応区分
		<p>様々な機会を通じて、この間の検討状況を報告してきましたが、他施設での実施に当たっては、教員が実際に確認できるよう、実施施設を決定する際には、長期休業期間を中心に、これまでに6回視察ツアーを開催し、施設決定後は各校最大3回の実地踏査をできるようにしてきたところです。</p> <p>また、安全・安心な自然教室の実施に向け、小学校では2～3校に1人であった看護師を全校派遣に拡充するなど、より充実した体制に整えるとともに、他施設での実施結果から、市街地から離れた立地等の場合、救急車やタクシーの手配に時間を要することから、一部の施設については、令和8年度から緊急搬送用の車両を配備することとしました。</p> <p>今後も、安全性の確保に留意しながら、自然教室を通して、子どもたちがより豊かな体験や経験ができるよう、しっかりと取り組んでまいります。</p>	
3	<p>毎年酷暑なので、高原エリアでの活動を強く希望します。暑い最中での活動を敢えて行わせる必要性はありません。</p>	<p>自然教室については、屋外での活動が中心となるため、八ヶ岳少年自然の家も含め、高原エリアで実施する場合においても、休息や水分補給など、暑さ対策を講じて実施しています。</p> <p>今後、子どもたちがより楽しめる、より充実した自然体験活動ができるよう、「選べる！チョイス！自然教室！」をコンセプトに、複数の施設から、学校ごとに時期や実施場所を選べる手法で実施していきますが、施設の選択に当たっては、学校が検討しやすいよう、施設の基本情報や、実施時期の気温情報も含めた周辺環境等について、メリット・デメリットも含め分かりやすくまとめた「自然教室実施候補地カタログ集」を作成しています。</p> <p>今後も、自然教室を通して、子どもたちがより豊かな体</p>	D

	意見（要旨）	市の考え方	対応区分
		<p>験や経験ができるよう、しっかりと取り組んでまいります。</p>	
4	<p>建て替えができないなら別施設での運用が必要だと思います。子どもが宿泊教室で2年ほど前に宿泊した際に、災害のリスクがある地域という発表があり、川崎市の安全に対する考え方に対して疑問がわきました。</p> <p>また、現在は熊の被害も本州で起きています。建物の老朽化以外のリスクも多いので、他の市や県とで共用の施設を使うなどして、場所含め、一考いただきたいです。老人や外国人、所得の低い世帯だけでなく一般的な市民、この先成長して税金を納めることになる若い世代も大切にしていきたいです。</p>	<p>自然教室については、今後、子どもたちがより楽しめる、より充実した自然体験活動ができるよう、「選べる！チョイス！自然教室！」をコンセプトに、複数の施設から、学校ごとに時期や実施場所を選べる手法で実施していきます。</p> <p>なお、他施設での実施に当たっては、学校が検討しやすいよう、施設の基本情報や、周辺環境等について、メリット・デメリットも含め分かりやすくまとめた「自然教室実施候補地カタログ集」を作成しており、教員が実際に確認できるように、実施施設を決定する際には、長期休業期間を中心に視察ツアーを開催し、施設決定後は各校最大3回の実地踏査をできるようにしているほか、熊については出没情報の収集や対策を講じるなど、学校がリスクを把握し、安全・安心な自然教室を実施できるよう配慮しているところです。</p> <p>今後も、自然教室を通して、子どもたちがより豊かな体験や経験ができるよう、しっかりと取り組んでまいります。</p>	B
5	<p>法人として、子どもたちの自然体験活動の場として年間数回利用しており、個人としても年に何回か利用しています。</p> <p>自然教室について、自然教室として学びが得られる活動を望みます。八ヶ岳少年自然の家での実施を通して、富士見町を訪れることで友好都市を知ったり、社会科学習にもつながる高原野菜の流通などを学んだり、野菜のたい肥化から収穫までの循環を通してSDGsを体験学習したりすることで、知識として身につけたり、子ども自身がSDGsについて考えて行動するようになりました。</p> <p>選べるチョイスで選択肢が増えるのは良いが、単に宿泊体験旅行で</p>	<p>自然教室は、豊かな自然の中で様々な体験活動や集団行動を通じて、基本的な生活習慣や公衆道徳などについての体験を積み、互いを思いやり、共に協力し合うなど、より良い人間関係を形成しようとする態度を育てる重要な教育活動の一つであり、子どもたちのその後の成長や社会的自立に向けた資質、能力の育成にとって、大きな教育的意義があるものと考えています。</p> <p>他施設での実施結果からは、目で見て実際に触れるといった生きた環境学習や、教科での学習後に実際に体験する</p>	D

	意見（要旨）	市の考え方	対応区分
	<p>あれば不要だと考えます。</p>	<p>といった学びを深める体験活動を行うなど、各学校の実情や教育課程を踏まえたプログラムを実施できていること、児童生徒へのアンケート結果からは、9割以上の児童生徒が他施設においても充実した活動ができたと回答しており、利用施設の違によって、結果に大きな差がないことから、他施設であっても、自然教室の実施目的は達成できるものと判断しています。</p> <p>今後も、自然教室を通して、子どもたちがより豊かな体験や経験ができるよう、しっかりと取り組んでまいります。</p>	
6	<p>子どもを持つ親として、八ヶ岳少年自然の家敷地の一部が土砂災害特別警戒区域等に指定されていると聞いてしまった以上、安全への不安はぬぐえません。別の複数施設の中から選択する形が現状ベターであると考えます。</p> <p>施設がどこであれ、自然に囲まれた普段と違った環境で、友人たちと生活を共にすることに意義があると考えます。</p>	<p>八ヶ岳少年自然の家については、敷地の一部が「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」に基づく土砂災害特別警戒区域等に指定されていることから、「避難確保計画」や「施設の休所基準」等を策定するなど、ソフト面の安全対策を行うことで、当面は当該施設の利用は可能ですが、地球温暖化等の気候変動や線状降水帯等の異常気象等を踏まえた地形的な課題、それによる将来的に予測困難な災害リスク等を考慮すると、60年以上使用する施設を再整備し、保有し続けることになる、現地での再編整備は、長期的な安全性の確保という課題を払しょくできないものと考えています。</p> <p>また、これまでの他施設での実施結果から、児童生徒の9割以上は充実した活動ができたと回答し、教員からは、移動時間が短縮されたことで児童生徒の活動時間をより多く確保できた、ゆとりある充実したスケジュールを組むことができたとの意見があるなど、おおむね好評を得ていることから、今後も、自然教室を通して、子どもたちがより豊かな体験や経験ができるよう、学校の実情に合わせて実施場所や内容を選択する手法を継続してまいります。</p>	B

	意見（要旨）	市の考え方	対応区分
7	<p>八ヶ岳が老朽化や災害地域ということで使用不可になるのは理解したが、代替案は、これまでと同レベルもしくはそれ以上にしてもらいたい。移動時間や引率者の負担、バス手配、予算など総合的にみて近場で済ませたい気持ちが先行している資料にしか見えない。他県にみんな泊まりに行った、レクリエーションが楽しかった、神奈川県ではない星空がキレイな場所で夜キャンプファイヤーをした、ハイキングをした、途中で具合が悪くなったり、仲違いもあったが協力して課題を解決したなど、自分自身も八ヶ岳での思い出は鮮明に記憶している。子どもたちにも同様の思い出を作ってほしい。廃止を先行するのではなく、代替場所をしっかりと確保してから決めてほしい。あとから致し方なく消去法で決めて前例を作るようなことはやめてほしい。神奈川県の施設を悪く言うつもりはないが、特別感がない。</p>	<p>自然教室は、豊かな自然の中で様々な体験活動や集団行動を通じて、基本的な生活習慣や公衆道徳などについての体験を積み、互いを思いやり、共に協力し合うなど、より良い人間関係を形成しようとする態度を育てる重要な教育活動の一つとして実施していることから、子どもたちが自然教室での活動や学びを通して成長できるようにすることが重要であり、そうした活動に全ての子どもが参加できるよう、学校の実情に合わせて実施場所や内容を選択する手法は、今の学校にマッチしているものと考えます。</p> <p>また、他施設での実施結果からは、目で見て実際に触れるといった生きた環境学習や、教科での学習後に実際に体験するといった学びを深める体験活動を行うなど、各学校の実情や教育課程を踏まえたプログラムを実施できていること、児童生徒へのアンケート結果からは、9割以上の児童生徒が他施設においても充実した活動ができたと回答しており、利用施設の違いによって、結果に大きな差がないことから、他施設であっても、自然教室の実施目的は達成できるものと判断しています。</p> <p>なお、全市立小中学校での確実な実施に向け、バスの早期確保や利用施設の拡充など、持続可能な実施手法を検討した結果、令和8年度実施分において、小学校115校のうち52校が、中学校52校のうち41校が他施設で実施することとなり、八ヶ岳少年自然の家の施設閉止となる令和10年度までに、全校他施設での実施は可能と判断しました。</p> <p>今後も、自然教室を通して、子どもたちがより豊かな体験や経験ができるよう、しっかりと取り組んでまいります。</p>	D

	意見（要旨）	市の考え方	対応区分
8	<p>私たちにとって八ヶ岳少年自然の家は、単なる「自然の中の宿泊施設」ではなく、川崎という過密都市に暮らす子どもたちが長年にわたり「生きる力」を育む学びの場として機能してきました。サマーキャンプをはじめとした継続的な利用の中で、子どもたちからは「何回行っても、毎回新しい発見があって感激する」「八ヶ岳の体験で価値観が変わった。サマーキャンプに行きたくて1年間子ども会議に通った」といった声を聞いてきました。不登校だった子が、この活動をきっかけに登校を再開した例も実際にあります。こうした変化は、単に「楽しかった」「充実していた」といったアンケート結果だけでは表現しきれない、深い教育的価値だと考えます。</p> <p>市の資料では、R6年度の他施設実施でも自然教室の目的は概ね達成されているとされていますが、そこに示されているのは「満足度」や「充実感」が中心であり、「価値観の変容」や「生き方にかかわるような学び」までは十分に測れていないのではないのでしょうか。アンケートを根拠に「他施設で代替可能」と判断することには大きな限界があると感じます。</p>	<p>自然教室は、豊かな自然の中で様々な体験活動や集団行動を通じて、基本的な生活習慣や公衆道徳などについての体験を積み、互いを思いやり、共に協力し合うなど、より良い人間関係を形成しようとする態度を育てる重要な教育活動の一つであり、子どもたちのその後の成長や社会的自立に向けた資質、能力の育成にとって、大きな教育的意義があるものと考えています。</p> <p>児童生徒へのアンケート結果のみならず、他施設での実施結果からは、目で見て実際に触れるといった生きた環境学習や、教科での学習後に実際に体験するといった学びを深める体験活動を行うなど、各学校の実情や教育課程を踏まえたプログラムを実施できていることから、他施設であっても自然教室の実施目的は達成できるものと判断しています。</p> <p>今後も、自然教室を通して、子どもたちがより豊かな体験や経験ができるよう、しっかりと取り組んでまいります。</p>	D
9	<p>今後、AIの活用が当たり前になっていく社会においては、「正解を早く出す力」よりも、「何を問い、何を大切に生きていくか」を考える力が重要になっていきます。その意味で、八ヶ岳少年自然の家で行われてきた活動は、まさに現代的な価値をもつものです。木登り、秘密基地づくり、森の運動会、穴掘り、工作、キャンプファイヤー、森の宝物探しオリエンテーリング、肝試し、ナイトハイク、入笠山の山頂から見る眺望、光り輝く星空、動植物との出会いなど、これらは、用意されたプログラムを消費するだけではなく、子ども自身が自然に働きかけ、「やってみたい」「もっと知りたい」という気持ちを原動力に展開されてきた活動です。市が土地を所有し、一定の自由度と継続性が確保されていたからこそ実現できたものでもあります。間借りの他都市、民間の施設では到底できない活動です。</p>	<p>「今後の自然教室及び八ヶ岳少年自然の家の方向性（案）」記載のとおり、自然教室は、学習指導要領に定める特別活動の一つとして、豊かな自然の中で様々な体験活動や集団行動を通じて、基本的な生活習慣や公衆道徳などについての体験を積み、互いを思いやり、共に協力し合うなど、より良い人間関係を形成しようとする態度を育てる重要な教育活動の一つであり、子どもたちのその後の成長や社会的自立に向けた資質、能力の育成にとって、大きな教育的意義があるものと考えています。</p> <p>他施設での実施結果からは、目で見て実際に触れるといった生きた環境学習や、教科での学習後に実際に体験するといった学びを深める体験活動を行うなど、各学校の実情</p>	D

	意見（要旨）	市の考え方	対応区分
	AI 全盛の時代だからこそ、五感を総動員して自然と向き合い、自分の頭と身体で「不思議」「なぜ」を感じ取る経験は、将来の学びや生き方の根っこを支えるものです。この視点が方向性案の中で十分に位置づけられているとは言い難いと感じています。	<p>や教育課程を踏まえたプログラムを実施できていること、児童生徒へのアンケート結果からは、9割以上の児童生徒が他施設においても充実した活動ができたと回答しており、利用施設の違いによって、結果に大きな差がないことから、他施設であっても、自然教室の実施目的は達成できるものと判断しています。</p> <p>今後も、自然教室を通して、子どもたちがより豊かな体験や経験ができるよう、しっかりと取り組んでまいります。</p>	
10	小学校、中学校の子どもがいますが、八ヶ岳少年自然の家の利用を止め、他施設の利用をすることには概ね賛成です。今後気になる場所として、他施設の利用により、ノウハウの確立法や前年度の反省の活かし方が気になります。	<p>他施設におけるノウハウの蓄積等については、各学校においては、旅行会社からのアドバイスや最大3回の実地踏査をできるようにし、学校間においては、施設ごとにGoogle クラウドルームを開設し、各学校のプログラムや実施結果等を共有できるようにするなど、新たな行程表づくりをフォローする体制を整えました。</p> <p>今後も、自然教室を通して、子どもたちがより豊かな体験や経験ができるよう、しっかりと取り組んでまいります。</p>	B
11	八ヶ岳少年自然の家は、長年にわたり多くの小中学校が研修や自然体験活動に利用してきた施設であり、本市の教育活動を継続的に支えてきた重要な拠点です。他にも利用可能な施設がないわけではありませんが、少年自然の家ほど豊かな自然環境に恵まれ、かつ教育的な研修を体系的に行える施設は他にはありません。また、市内の小中学校が同一の施設を使い続けることには、教育上の大きな利点があります。利用方法や引率時の安全管理、プログラム運営に関するノウハウが学校間や教職員間で蓄積・共有され、世代を超えて円滑に伝承されてきました。施設が変われば、こうした経験の伝承は分断され、教育現場の負担増や安全面の低下にもつながりかねません。	<p>自然教室について、他施設での実施結果からは、目で見て実際に触れるといった生きた環境学習や、教科での学習後に実際に体験するといった学びを深める体験活動を行うなど、各学校の実情や教育課程を踏まえたプログラムを実施できていること、児童生徒へのアンケート結果からは、9割以上の児童生徒が他施設においても充実した活動ができたと回答しており、利用施設の違いによって、結果に大きな差がないことから、他施設であっても、自然教室の実施目的は達成できるものと判断しています。</p> <p>また、他施設におけるノウハウの蓄積については、各学校においては、旅行会社からのアドバイスや最大3回の実</p>	D

	意見（要旨）	市の考え方	対応区分
		<p>地踏査をできるようにし、学校間においては、施設ごとに Google クラスルームを開設し、各学校のプログラムや実施結果等を共有できるようにするなど、新たな行程表づくりをフォローする体制を整えています。</p> <p>今後も、教員の負担軽減や安全対策を講じながら、自然教室を通して、子どもたちがより豊かな体験や経験ができるよう、しっかりと取り組んでまいります。</p>	
12	<p>法人として、子どもたちの自然体験活動の場として年間数回利用しており、個人としても年に何回か利用しています。</p> <p>自然教室について、選べるチョイスにより、学校ごとに内容が違っていいのでしょうか。教育は平等であるべきではないのでしょうか。</p>	<p>自然教室における2泊3日の行程については、八ヶ岳少年自然の家を利用する場合であっても、各学校が活動内容を選択しており、学校ごとに多様なプログラムが行われています。</p> <p>自然教室は、豊かな自然の中で様々な体験活動や集団行動を通じて、基本的な生活習慣や公衆道徳などについての体験を積み、互いを思いやり、共に協力し合うなど、より良い人間関係を形成しようとする態度を育てる重要な教育活動の一つとして実施していることから、子どもたちが自然教室での活動や学びを通して成長できるようにすることが重要であり、そうした活動に全ての子どもが参加できるよう、学校の実情に合わせて実施場所や内容を選択する手法は、今の学校にマッチしているものと考えます。</p> <p>今後も、自然教室を通して、子どもたちがより豊かな体験や経験ができるよう、しっかりと取り組んでまいります。</p>	D
13	<p>法人として、子どもたちの自然体験活動の場として年間数回利用しており、個人としても年に何回か利用しています。</p> <p>自然教室について、宿泊場所により、保護者負担額が変動することについて、懸念を持っています。</p>	<p>自然教室における保護者負担については、これまでも、食事代や体験活動等に関する費用を保護者負担、それ以外のバス等の移動費や施設の利用料等を公費負担としており、今回、他施設で実施する場合も同様の考え方とし、バス代等の移動費に加え、宿泊場所によって異なる宿泊料についてもすべて公費負担としています。</p>	D

	意見（要旨）	市の考え方	対応区分
		<p>なお、八ヶ岳少年自然の家を利用する場合であっても、各学校が活動内容を選択していることから、従前から保護者負担額は学校ごとに差が生じています。</p> <p>今後も、自然教室を通して、子どもたちがより豊かな体験や経験ができるよう、しっかりと取り組んでまいります。</p>	
14	<p>小学校、中学校の子どもがいますが、八ヶ岳少年自然の家の利用を止め、他施設の利用をすることには概ね賛成です。今後気になるところとして、他施設の利用により、各家庭で負担する費用がどうなるかが気になります。</p>	<p>自然教室における保護者負担については、これまでも、食事代や体験活動等に関する費用を保護者負担、それ以外のバス等の移動費や施設の利用料等を公費負担としており、今回、他施設で実施する場合も同様の考え方とし、バス代等の移動費に加え、宿泊場所によって異なる宿泊料についてもすべて公費負担としています。</p> <p>保護者負担額については、施設や実施内容により異なるものの、春の実施では食事代や保険料に係る費用として百円から4千円程度、冬の実施では食事代や保険料及びスキーに係る費用として2千円から1万円程度の増となっています。</p> <p>今後も、自然教室を通して、子どもたちがより豊かな体験や経験ができるよう、しっかりと取り組んでまいります。</p>	B
15	<p>小中学生で1回ずつ宿泊行事で使用し、高校では地学部の宿泊行事で毎年使ってきました。八ヶ岳少年自然の家は、他の施設と比べても安価で抑えられていることも明確で、川崎市の小学生の宿泊行事を支えている、なくてはならない存在だと思えます。</p>	<p>自然教室について、他施設での実施結果からは、目で見て実際に触れるといった生きた環境学習や、教科での学習後に実際に体験するといった学びを深める体験活動を行うなど、各学校の実情や教育課程を踏まえたプログラムを実施できていること、児童生徒へのアンケート結果からは、9割以上の児童生徒が他施設においても充実した活動ができたと回答しており、利用施設の違いによって、結果に大きな差がないことから、他施設であっても、自然教室の実施目的は達成できるものと判断しています。</p>	D

	意見（要旨）	市の考え方	対応区分
		<p>今後も、自然教室を通して、子どもたちがより豊かな体験や経験ができるよう、しっかりと取り組んでまいります。</p>	
16	<p>川崎市を中心に活動している天文同好会です。年4～5回少年自然の家で天体観察をしたり、天体写真を撮影しています。</p> <p>自然教室の負担について、保護者にとっても他都市の民間施設を使った自然教室は確実に割高になるものと思います。</p>	<p>自然教室における保護者負担については、これまでも、食事代や体験活動等に関する費用を保護者負担とし、それ以外のバス等の移動費や施設の利用料等を公費負担としており、今回、他施設で実施する場合も同様の考え方とし、バス代等の移動費に加え、宿泊場所によって異なる宿泊料についてもすべて公費負担としています。</p> <p>なお、八ヶ岳少年自然の家を利用する場合であっても、各学校が活動内容を選択していることから、従前から保護者負担額は学校ごとに差が生じています。</p> <p>今後も、自然教室を通して、子どもたちがより豊かな体験や経験ができるよう、しっかりと取り組んでまいります。</p>	D
17	<p>八ヶ岳少年自然の家には、学生の時に利用しました。当時はそこが富士見町にあるとか、友好都市であるとかは覚えていませんでしたが、行ったこと、友だちと一緒に過ごしたことは思い出に残っています。ただ、今回の資料を見て、各学校が選んで自然教室を行える、と言うのは合理的だと思いました。施設ごとにかかる費用が違うというのも理解はできますが、事前にこういった費用でこれくらい掛かるというのを説明していただきたいのと、費用に見合った体験を子どもには経験してもらいたいと思います。</p>	<p>自然教室における保護者負担については、これまでも、食事代や体験活動等に関する費用を保護者負担、それ以外のバス等の移動費や施設の利用料等を公費負担としており、今回、他施設で実施する場合も同様の考え方とし、バス代等の移動費に加え、宿泊場所によって異なる宿泊料についてもすべて公費負担としています。</p> <p>負担額については、施設や実施内容により異なるものの、春の実施では食事代や保険料に係る費用として百円から4千円程度、冬の実施では食事代や保険料及びブスキーに係る費用として2千円から1万円程度の増となっており、各施設の食事代やスキーレンタル費用等の情報については学校に提供し、各学校では、それに体験活動費を加えた負担額を保護者に対し説明するなどの対応に努めているところです。</p>	B

	意見（要旨）	市の考え方	対応区分
		<p>今後も、自然教室を通して、子どもたちがより豊かな体験や経験ができるよう、しっかりと取り組んでまいります。</p>	
18	<p>山の中はどこも土砂災害警戒区域はあると思います。そして運転手問題は行き先を変えたとしても同じです。公立学校で、宿泊行事で使用するのだから、市でバスまで用意してもいいのではないかと思っていました。学校ごとに手配する手間も省けるし、市バスもあるのだから業務提携も可能なのではないかと思っていました。未来を担う全ての子どもに、特に経済的、家庭問題により経験できないことを公として経験させる機会を守ってください。</p>	<p>自然教室で利用するバスについては、学校ごとではなく、教育委員会事務局で一括発注しています。</p> <p>市でバスを調達することについては、八ヶ岳少年自然の家で自然教室を実施する場合、小学校では2～3校が同日に実施しているため、常時10台以上のバスを使用する必要があることから、観光バスの購入費用及び維持管理費に相当のコストがかかることなどから実現は困難なものと考えております。</p> <p>また、市バスの活用については、運転手確保が困難な状況は市バスにおいても同様であり、加えて、令和6年4月からの労働規制強化に伴い貸切バス事業への対応がより困難な状況となっております。なお、市バスの仕様上、客席にシートベルトが装備されていないことから、高速道路を走行することはできません。</p> <p>自然教室は、学習指導要領に定める特別活動の一つとして、豊かな自然の中で様々な体験活動や集団行動を通じて、基本的な生活習慣や公衆道徳などについての体験を積み、互いを思いやり、共に協力し合うなど、より良い人間関係を形成しようとする態度を育てる重要な教育活動の一つであり、子どもたちのその後の成長や社会的自立に向けた資質、能力の育成にとって、大きな教育的意義があるものと考えていますので、引き続き実施してまいります。</p>	D
19	<p>教員として、教員の働き方改革の観点から、自然教室含めた宿泊学習においては、夜中に具合が悪くなった子どもの看病や、場合によっては、トイレのために夜中子どもを起こしてほしいといった保護者の要望もあり、24時間対応しなければならない状況が生じています。一</p>	<p>引率する教員の負担については、日中・夜間問わず、児童生徒への指導及びケガや病気等への対応など、2泊3日の自然教室実施期間中、十分な休息が取りづらく負担が大きいものと考えています。</p>	D

	意見（要旨）	市の考え方	対応区分
	方で教員の勤務時間は24時間体制とはなっていません。きちんと説明や対応がなされないまま負荷がかかる状況が続くと、教員の働く意欲にも直結すると思います。	宿泊施設等との連絡調整や支払業務を担う添乗員の同行、看護師の全校派遣など、教員が児童生徒の指導に専念できる体制を整えるなどの負担軽減策を講じており、今後も引き続き、教員が安心して自然教室の実施に専念できるよう、負担軽減に取り組んでまいります。	
20	教員として、自然教室については、これを機に止める方向性にはどうか。現在、学校以外の様々な団体も集団での宿泊学習を行っており、学校が膨大な時間と労力とお金を割いてまで自然教室に取り組む必要があるのかが疑問です。	自然教室は、学習指導要領に定める特別活動の一つとして、豊かな自然の中で様々な体験活動や集団行動を通じて、基本的な生活習慣や公衆道徳などについての体験を積み、互いを思いやり、共に協力し合うなど、より良い人間関係を形成しようとする態度を育てる重要な教育活動の一つであり、子どもたちのその後の成長や社会的自立に向けた資質、能力の育成にとって、大きな教育的意義があるものと考えていますので、引き続き実施してまいります。	D
21	<p>中学1年生です。自然教室で八ヶ岳少年自然の家を利用する予定です。以前、小学5年生の時に利用した際には、星の棟に宿泊して、友だちと楽しいひと時を過ごしました。今も覚えています。北岳食堂に行き、朝ご飯をたくさんおかわりして、入笠山に行ったり、外でみんなでカレーを作ったりしました。</p> <p>以上のような思い出がたくさん残っていることから、少年自然の家を青少年教育施設として残していく必要があると感じました。小学5年生の自然教室は、友だちと初めて行く宿泊体験でもあります。その貴重な体験を、緑に囲まれた八ヶ岳で味わえるということは、川崎の魅力であるとも思っています。</p>	<p>自然教室は、豊かな自然の中で様々な体験活動や集団行動を通じて、基本的な生活習慣や公衆道徳などについての体験を積み、互いを思いやり、共に協力し合うなど、より良い人間関係を形成しようとする態度を育てる重要な教育活動の一つであり、子どもたちのその後の成長や社会的自立に向けた資質、能力の育成にとって、大きな教育的意義があるものと考えています。</p> <p>他施設での実施結果からは、目で見て実際に触れるといった生きた環境学習や、教科での学習後に実際に体験するといった学びを深める体験活動を行うなど、各学校の実情や教育課程を踏まえたプログラムを実施できていること、児童生徒へのアンケート結果からは、9割以上の児童生徒が他施設においても充実した活動ができたという回答しており、利用施設の違によって、結果に大きな差がないことから、他施設であっても、自然教室の実施目的は達成できるものと判断しています。</p>	D

	意見（要旨）	市の考え方	対応区分
		<p>今後も、自然教室を通して、子どもたちがより豊かな体験や経験ができるよう、しっかりと取り組んでまいります。</p>	
22	<p>川崎市元教員です。現職時代、数多く八ヶ岳の施設を利用してきました。川崎から近く、自然がいっぱいで、こんなに広々とした施設は他にはないといつも思っていました。</p> <p>代替施設を各学校で探している、という話も聞きました。とんでもないことです。代替施設を完全に見つけ、契約してから廃止してください。これは川崎市が子どもたちの教育を軽視している証拠です。子どもたちは初めての自然教室を楽しみにしています。これは市が進もうとしている方針の転換に自然教室の廃止も入っているのではないかと思います。そうでなければ、私たちが納得するような理由を説明してください。</p>	<p>自然教室は、学習指導要領に定める特別活動の一つとして、豊かな自然の中で様々な体験活動や集団行動を通じて、基本的な生活習慣や公衆道徳などについての体験を積み、互いを思いやり、共に協力し合うなど、より良い人間関係を形成しようとする態度を育てる重要な教育活動の一つであり、子どもたちのその後の成長や社会的自立に向けた資質、能力の育成にとって、大きな教育的意義があるものと考えていますので、引き続き実施してまいります。</p> <p>なお、他施設での実施に当たっては、学校が検討しやすいよう、施設の基本情報や、実施時期の気温情報も含めた周辺環境等について、メリット・デメリットも含め分かりやすくまとめた「自然教室実施候補地カタログ集」を教育委員会事務局で作成しており、教員が実際に確認できるよう、実施施設を決定する際には長期休業期間を中心に視察ツアーを開催し、施設決定後は各校最大3回の実地踏査ができるようにしているほか、施設の予約やバスの手配についても、事務局で手配しています。</p> <p>また、全市立小中学校での確実な実施に向け、バスの早期確保や利用施設の拡充など、持続可能な実施手法を検討した結果、令和8年度実施分において、小学校115校のうち52校が、中学校52校のうち41校が他施設で実施することとなり、八ヶ岳少年自然の家施設閉止となる令和10年度までに、全校他施設での実施は可能と判断しています。</p> <p>今後も自然教室を通して、子どもたちがより豊かな体験や経験ができるよう、しっかりと取り組んでまいります。</p>	D